

おおとまりまち

## 大泊町中山間事業組合（石川県七尾市）

### 海と山と棚田の集落から生まれる人のつながり

協定面積: 田 23.4ha(急傾斜23.4ha)

協定参加者: 農業者16名、非農業者16名、任意組織3 協定開始: 令和2年度

#### 地域の概要・経緯

- 当該集落協定地区は、七尾市の中心部から約15km南東に位置し、東方に富山湾を望み、西側を能越自動車道が縦断。
- 農地が集落の高台に広がっており、農地の保全が集落の安定・安全に直接つながることから、平成12年度から中山間地域等直接支払制度を実施。
- 非農家も含めた集落全体で水路の泥上げや農道周辺の除草作業・ため池の法面除草作業などの共同活動を実施し、農業生産活動等を維持するための体制を構築。
- 協定農用地区域の外周にイノシシフェンスを設置し、外部からの侵入を防いでいるのに加えてイノシシ檻を設置し、捕獲により駆除。



【農村ボランティア】



【集落協定農用地と集落  
(新住民募集の看板)】

#### 取組の概要

- 近年は、金沢市内等から来る農村ボランティアや、青年漁師4名等が除草及び耕起を行い、農地の保安全管理に従事。農業者の負担が軽減されたことにより第5期対策から、協定農用地面積が第4期対策最終年度（令和元年度）より3ha増加。
- 協定農用地で生産した米を「大泊なずみ米」としてブランド化し、「能越自動車道」のパーキングエリア内の直売所での販売等により、地域所得が向上。
- 令和2年度から、「棚田地域振興活動加算措置」を活用して、①菜の花の植栽による景観保全、②小中学生等の農業体験、③空き家を活用した移住・定住の促進、④棚田で作ったもち米を原料にした「かき餅」等の加工品を開発し、集落内で毎月開催する朝市で販売。



【大泊なずみ米】

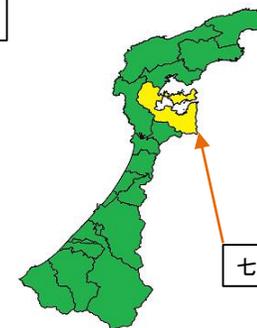


【農業体験】



【菜の花植栽】

石川県



七尾市